

質問：内科ではどのような症状の患者さんを診るのですか。

内科では沢山の症状の患者さんを診ます。一般内科は、いろんな症状の病気を持つ患者さんを治療しますが、様々な病気を、さらに専門の内科や、外科、耳鼻科、眼科など、他の科に振り分ける総合受付のような役目も持っています。

内科は専門的にさらに細かく分かります。

呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、アレルギー科、リウマチ膠原病科、脳神経内科、心療内科など、病気の種類に対応して分かります。

- ・呼吸器内科は、咳、喉の痛み、息苦しさ、胸の痛み、などの喉や肺などの呼吸器と呼ばれる器官の病気の症状の患者さんを診ます。

- ・循環器内科は、胸が痛い、脈が乱れる、息苦しい、などの心臓が原因と思われる病気の症状を持つ患者さんを診ます。

- ・消化器内科は、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、食欲がない、などのお腹の症状を持つ患者さんを診ます。

- ・アレルギー科は、湿疹や花粉症、気管支喘息などアレルギー症状を持つ患者さんを診ます。

- ・リウマチ膠原病科は、自分で自分の身体を攻撃する自己抗体などを作ることによって引き起こされる、発熱や身体の痛み、そのほか様々な症状を持つ患者さんを診ます。

- ・脳神経内科は、脳の血管や神経が障害されて、手足がしびれたり、動きにくくなったりする症状を持つ患者さんを診ます。

- ・心療内科は、眠れない、食欲がない、下痢をするなど様々な症状が、心の病気が原因で出ていると思われる患者さんを診ます。

同じような症状でも、原因が異なる場合があります。

例えば、息苦しいとか、胸が痛いという症状は、肺が原因であっても、心臓が原因であっても現れてきます。その症状の原因がどこにあるのかを正確に見つけなければ、正しい治療はできません。

内科で病気が見つかり、薬による治療だけでは治すことができなくて、外科に紹介されて、手術になるケースも沢山あります。